

とんぼは、俊敏で攻撃力が高くまっすぐ前に飛ぶ様子から「勝ち虫」と呼ばれ、戦国時代には鎧兜の装飾や刀のつばなどに用いられました。江戸時代になると、武士以外にもとんぼの文様が広がり、着物に取り入れられるようになりました。童謡「赤とんぼ」で歌われてきたことから、古くから日本人に親しまれてきたことがうかがえますね。

-----<< 目 次 >>-----

- \* 図書館インフォメーション
- \* 本の紹介<蔵出し一冊>
- \* 観る・聴く・読む<すいぽんセレクション>
- \* 郷土の本だけでなくピックアップすいた>
- \* 月間予約ランキング (文芸)
- \* 休館 (室) 日のお知らせ

- 
- 図書館インフォメーション
- 

《メンテナンスに伴う図書館ホームページサービスの停止について》  
図書館システムのメンテナンスのため、蔵書検索画面とMyライブラリについて、令和5年(2023年)9月27日(水曜日)午前10時~9月28日(木曜日)午後4時(予定)までサービスを停止します。ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

- \* メンテナンス作業の進捗状況により、サービス停止時間を変更する場合があります。
- \* 電子図書館サービス「すいた電子図書館」は通常どおりご利用いただけます。

詳細ページはこちら  
[https://www.lib.suita.osaka.jp/important/post\\_13.html](https://www.lib.suita.osaka.jp/important/post_13.html)

- 
- 本の紹介<蔵出し一冊>
- 

図書館職員が今までの読書体験の中から紹介する珠玉の1冊！

『告白』町田康／著(中央公論新社)  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1101014218>

今年の夏は久しぶりに祭りに参加した方も多いでしょう。河内音頭の代表的演目である「河内十人斬り」をテーマにした小説『告白』。恋と金銭の恨みから十人斬殺したのち自決したこの事件の犯人を、町田康が極度の自意識過剰な主人公として作り上げ、疾走感のある独特の文体で描いています。「河内十人斬り」は明治26年(1893年)に現在の大阪府千早赤阪村で実際に起こった事件で、新聞社のオンラインデータベースで当時の新聞報道を読むことができます。(AM)

↓↓<蔵出し一冊>のバックナンバーはこちらへ!↓↓  
[https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page\\_id=174](https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=174)

■□-----  
□■ 観る・聴く・読む <すいぽんセレクション>  
■□-----

9月18日は敬老の日です。年を重ねても、いえ、重ねたからこそ、人生を楽しんでいる方々の暮らしや人生観がうかがえる資料を紹介します。

【図書】『bonとponふたりの暮らし』bonpon／著（主婦の友インフォス）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102455424>  
60代夫婦の夫bonさん、妻ponさん。同じ色を使ったり、柄やテイストを合わせるリンクコーディネイトが上手なお二人。お洒落な着こなしは見ているだけで楽しめます。

【図書】『老いを楽しく手なづけよう』吉永みち子／著（中央公論新社）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102871708>  
老いの入口からまっただなかの70代へ突入。老いからは逃れられない、ならば徐々に手なづけしていこう、と日々を前向きに過ごす著者のエッセイ集です。

【図書】『百歳人生を生きるヒント』五木寛之／著（日本経済新聞出版社）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102472862>  
人生80年時代から100年時代へ。100歳までの長い道のりをどう進んでいくのか。出版当時85歳の著者が50代以降の生き方についての心構えを記します。

【DVD】『世界最速のインディアン』ロジャー・ドナルドソン／監督  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1301470932>  
ニュージーランドに住む63歳のパート・マンロー。彼は世界最速記録に挑むという40年越しの夢を叶えるため、独力で改造したバイクでアメリカを目指します。実話をもとにしたロードムービーです。

↓↓図書館の特設情報は、公式Facebookへ↓↓  
<https://www.facebook.com/pages/吹田市立図書館/100426516810969>

■□-----  
□■ 郷土の本だなくピックアップすいた>  
■□-----

《毎日放送千里丘放送センター跡地について》

千里丘北小学校やミリカ・ヒルズが建っている場所には、かつて毎日放送（MBS）千里丘放送センターがありました。毎日放送社長の高橋信三（たかはししんぞう）はアメリカの放送局を参考に、万博の会場に内定していた吹田の地・千里丘陵地帯に放送センターを開設しました。敷地内には公開収録用のミリカホールやMBSミリカスポーツがオープン。プールやゴルフ、テニスなどができるレクリエーション施設として親しまれていました。施設などの名称に使われている「ミリカ」。これは赤い実をつけるヤマモモの学名で、この地に生えていたヤマモモの巨木にちなんでつけられました。

『放送人高橋信三とその時代』辻一郎／著（大阪公立大学共同出版会）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102826185>

『毎日放送50年史』毎日放送50年史編纂委員会事務局／編集（毎日放送）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1100113373>

↓↓<ピックアップすいた>のバックナンバーはこちらへ！↓↓  
[https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page\\_id=410](https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=410)

■□-----  
□■ 月間予約ランキング（文芸）  
■□-----

- 1位 『極楽征夷大將軍』 垣根涼介／著（文藝春秋）
- 2位 『墨のゆらめき』 三浦しをん／著（新潮社）
- 3位 『木挽町のあだ討ち』 永井紗耶子／著（新潮社）
- 4位 『魔女と過ごした七日間』 東野圭吾／著（KADOKAWA）
- 5位 『物語の種』 有川ひろ／著（幻冬舎）
- 6位 『まいまいつぶろ』 村木嵐／著（幻冬舎）
- 7位 『世界でいちばん透きとおった物語』 杉井光／著（新潮社）
- 8位 『汝、星のごとく』 凧良ゆう／著（講談社）
- 9位 『コメンテーター』 奥田英朗／著（文藝春秋）
- 10位 『クスノキの番人』 東野圭吾／著（実業之日本社）

-----  
  休館（室）日のお知らせ  
  -----

≪全館休館日（北千里図書館以外）≫  
 9月27日（水曜日）～9月28日（木曜日）

≪北千里図書館休館日≫  
 9月26日（火曜日）～9月28日（木曜日）

- \* 中央図書館の休館日には、自習室も休室します。
- \* 休館中は返却ポストにお返しく下さい。ただし、山田分室ではCD・DVDを返却ポストには入れず、開館時間中に館内の自動返却機にお返しく下さい。

=====

- ・次号は令和5年（2023年）9月25日配信予定です。
- ・ご意見、ご感想、お問い合わせは  
[https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page\\_id=141](https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=141)まで。
- ・メールマガジンの配信登録・変更・解除は、図書館ホームページ<Myライブラリ>からお願いします。

↓↓<メールマガジン>のバックナンバーはこちらへ! ↓↓  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1600000001>  
 \* 2015年4月以降分。パソコン対応となります。

=====

編集・発行：吹田市立図書館  
 Copyright 2007 Suita Library  
 掲載内容を転載転送される場合は、図書館までお知らせください。  
 ホームページアドレス  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/>  
 公式Twitter  
[https://twitter.com/suita\\_toshokan](https://twitter.com/suita_toshokan)  
 9月のテーマは「月」。虫の音が耳に心地良い季節。夜空の主役も、賑やかだった花火から、静謐（せいひつ）な美しさに満ちた月へと交代します。今月は「月」にまつわる作品を紹介します。  
 公式Facebook  
<https://www.facebook.com/pages/吹田市立図書館/100426516810969>